

令和 8 年 2 月 5 日

山形県総合コロニー希望が丘しらさぎ寮における虐待事案の発生  
について（報告）

令和 7 年 11 月 17 日、事業団が運営する障害者支援施設「希望が丘しらさぎ寮」において、施設職員が利用者 1 名に対し、頭髪を掴み、床に投げ倒すという、断じて容認し得ない重大な虐待行為が発生いたしました。

事案発生後、当該利用者の住所地自治体による事実確認の調査を受け、障がい者虐待（身体的虐待）に該当する旨の令和 8 年 1 月 26 日付け指導通知を同年 2 月 3 日に受領いたしました。

利用者様、御家族の皆様及び関係者の皆様に多大なるご心労とご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申しあげます。

また、昨年 6 月に同種の虐待事案が発生しており、事業団として極めて重大かつ深刻な事態であると厳粛に受け止めております。

今後、このような事案が二度と発生することがないよう、事業団として強い危機意識を持ち、役職員一同が責任を自覚し、職員教育の徹底、管理体制の強化など再発防止に全力で取り組み、信頼回復に向けて誠心誠意努めてまいります。

社会福祉法人  
山形県社会福祉事業団  
理事長 加 藤 亮